



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年10月25日

上場会社名 株式会社カインス 上場取引所 東  
コード番号 4556 URL <https://www.kainos.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長津行宏  
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部本部長 (氏名) 林司 TEL 03-3816-4123  
四半期報告書提出予定日 2023年11月2日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	2,487	△1.0	517	1.3	525	△0.4	370	3.1
2023年3月期第2四半期	2,512	7.8	511	15.6	527	18.7	358	19.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	88.66	—
2023年3月期第2四半期	85.99	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	8,139	5,955	73.2
2023年3月期	8,115	5,669	69.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 5,955百万円 2023年3月期 5,669百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年3月期の業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,200	5.6	850	3.5	850	△0.5	570	0.3	136.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	4,558,860株	2023年3月期	4,558,860株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	384,800株	2023年3月期	384,800株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	4,174,060株	2023年3月期2Q	4,173,800株

(注) 期末自己株式には、「株式会社日本カストディ銀行（信託E口）」が保有する当社株式(2024年3月期2Q 275,100株、2023年3月期275,254株)が含まれております。また、「株式会社日本カストディ銀行（信託E口）」が保有する株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(2024年3月期2Q 275,100株、2023年3月期2Q 275,386株)。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	1
(1) 経営成績に関する説明 .....	1
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
第2四半期累計期間 .....	4
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	5
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類に移行され、社会経済活動の正常化が進み、国内需要を中心に景気は緩やかに回復しています。一方、円安の進行や原材料・エネルギー価格の高騰など、景気の先行きについては不透明な状況が続いています。

臨床検査業界においては、昨年度までに急拡大した新型コロナ検査市場は収束しましたが、第9波とされる新型コロナの再流行や春・夏以降増加傾向にあるA群溶血性レンサ球菌及びインフルエンザ感染症等に対する検査をはじめ、診断や治療に欠かせない検査試薬や機器等の重要性に変化はなく、臨床的に価値ある検査の継続的な供給に依っていきことが求められています。

このような状況の中、当社におきましては、基幹領域である生化学検査試薬、特に腎機能検査項目のひとつであるクレアチニン測定試薬のトップシェアを目指した積極的な拡販活動を進めるとともに、汎用生化学自動分析装置で測定可能な敗血症検査試薬の2023年度内上市に向けた開発に注力しています。輸血検査分野では、全自動輸血検査装置の新規設置及び更新に取り組んでいますが、上期における設置実績は予算未達となりました。

この結果、当第2四半期累計期間の当社売上高は24億8千7百万円（前年同期比1.0%減）となりました。営業利益は、5億1千7百万円（前年同期比1.3%増）、経常利益は、5億2千5百万円（前年同期比0.4%減）、四半期純利益は、3億7千万円（前年同期比3.1%増）となりました。

## 検査分野別売上高

(単位：千円)

		前第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	
		金額	構成比	金額	構成比
製品	生化学検査試薬	1,167,453	46.5	1,144,079	46.0
	免疫血清検査試薬	870,285	34.6	881,502	35.4
	その他	97,087	3.9	99,177	4.0
	計	2,134,826	85.0	2,124,759	85.4
商品	生化学検査試薬	59,311	2.4	22,012	0.9
	免疫血清検査試薬	290,637	11.6	329,359	13.2
	その他	27,886	1.1	11,863	0.5
	計	377,835	15.0	363,235	14.6
合計	生化学検査試薬	1,226,765	48.8	1,166,091	46.9
	免疫血清検査試薬	1,160,922	46.2	1,210,862	48.7
	その他	124,973	5.0	111,041	4.5
	計	2,512,662	100.0	2,487,995	100.0

(注) 数量については、取扱品目が多岐にわたり数量表示が困難なために記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における資産合計は81億3千9百万円となり、前事業年度末と比べ2千3百万円の増加となりました。流動資産は52億5千6百万円となり、前事業年度末と比べ3千7百万円の増加となりました。その主な要因は、現金及び預金が2億3千万円減少し、受取手形及び売掛金が2億2千8百万円、棚卸資産が2千7百万円増加したこと等によります。固定資産は28億8千2百万円となり、前事業年度末と比べ1千3百万円の減少となりました。その主な要因は、固定資産の取得により4千5百万円、投資有価証券が2千8百万円増加し、繰延税金資産が2千9百万円、減価償却の進捗に伴い5千7百万円減少したこと等によります。

当第2四半期会計期間末における負債合計は21億8千4百万円となり、前事業年度末と比べ2億6千1百万円の減少となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金が3千5百万円、賞与引当金が1千3百万円増加し、未払金が1億2千9百万円、未払費用が9千3百万円、長期借入金が5千万円減少したこと等によります。

当第2四半期会計期間末における純資産合計は59億5千5百万円となり、前事業年度末と比べ2億8千5百万円の増加となりました。その主な要因は、配当金の支払いによる減少と、四半期純利益により増加したこと等によります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は24億4千8百万円となり、前事業年度末と比べ2億3千万円の減少となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動は1千6百万円の資金の増加（前年同期は2億8千5百万円の増加）となりました。その主な要因は、売上債権の増加2億2千8百万円、未払金の減少8千8百万円、未払費用の減少9千2百万円、法人税等の支払1億5千5百万円により減少し、税引前四半期純利益5億2千8百万円、減価償却の進捗により5千7百万円増加したこと等によります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動は6千6百万円の資金の支出（前年同期は4百万円の支出）となりました。その主な要因は、空調設備の更新による支出3千8百万円、分析機器等の取得による支出1千7百万円によります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動は1億8千2百万円の資金の支出（前年同期は1億3千万円の支出）となりました。その主な要因は、長期借入金の返済5千万円及び配当金の支払い1億1千1百万円等によります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月10日の「2024年3月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」で公表いたしました通期業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,019,848	2,788,963
受取手形及び売掛金	1,410,952	1,639,489
商品及び製品	404,634	402,279
仕掛品	69,957	64,912
原材料及び貯蔵品	274,853	310,021
その他	38,863	51,201
流動資産合計	5,219,109	5,256,868
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	581,032	561,884
土地	1,786,539	1,786,539
その他（純額）	179,472	191,301
有形固定資産合計	2,547,043	2,539,724
無形固定資産	31,118	25,352
投資その他の資産	318,582	317,736
固定資産合計	2,896,744	2,882,813
資産合計	8,115,854	8,139,682
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	448,184	483,876
短期借入金	440,000	440,000
未払法人税等	172,745	147,366
賞与引当金	124,300	137,900
その他	730,869	491,657
流動負債合計	1,916,099	1,700,801
固定負債		
長期借入金	400,000	350,000
株式給付引当金	10,570	10,570
役員株式給付引当金	40,883	41,822
その他	78,461	81,170
固定負債合計	529,914	483,563
負債合計	2,446,014	2,184,365
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	831,413	831,413
資本剰余金	940,233	940,233
利益剰余金	4,122,770	4,381,604
自己株式	△268,897	△268,897
株主資本合計	5,625,520	5,884,353
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	44,319	70,963
評価・換算差額等合計	44,319	70,963
純資産合計	5,669,839	5,955,317
負債純資産合計	8,115,854	8,139,682

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	2,512,662	2,487,995
売上原価	1,165,516	1,180,784
売上総利益	1,347,145	1,307,210
販売費及び一般管理費	835,970	789,603
営業利益	511,174	517,606
営業外収益		
受取利息及び配当金	3,717	3,821
為替差益	6,973	4,555
業務受託料	9,000	2,130
その他	449	517
営業外収益合計	20,140	11,024
営業外費用		
支払利息	3,801	3,526
その他	504	—
営業外費用合計	4,305	3,526
経常利益	527,009	525,104
特別利益		
固定資産売却益	—	3,692
特別利益合計	—	3,692
特別損失		
固定資産除却損	542	380
特別損失合計	542	380
税引前四半期純利益	526,466	528,417
法人税、住民税及び事業税	160,551	130,754
法人税等調整額	7,000	27,600
法人税等合計	167,551	158,354
四半期純利益	358,915	370,062

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	526,466	528,417
減価償却費	70,508	57,452
売上債権の増減額 (△は増加)	△115,127	△228,537
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△19,599	△33,546
仕入債務の増減額 (△は減少)	△11,990	35,691
未払金の増減額 (△は減少)	△12,419	△88,494
未払費用の増減額 (△は減少)	△48,609	△92,572
その他	66,208	△6,547
小計	455,438	171,862
利息及び配当金の受取額	3,711	3,814
利息の支払額	△3,811	△3,380
法人税等の支払額	△169,419	△155,779
営業活動によるキャッシュ・フロー	285,918	16,516
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△8,221	△64,053
無形固定資産の取得による支出	—	△2,000
その他	3,225	△320
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,996	△66,374
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	100,000	150,000
長期借入金の返済による支出	△100,000	△200,000
自己株式の取得による支出	△50	—
配当金の支払額	△111,361	△111,080
その他	△19,110	△21,169
財務活動によるキャッシュ・フロー	△130,522	△182,250
現金及び現金同等物に係る換算差額	771	1,223
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	151,170	△230,884
現金及び現金同等物の期首残高	2,336,787	2,679,848
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,487,958	2,448,963



(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。